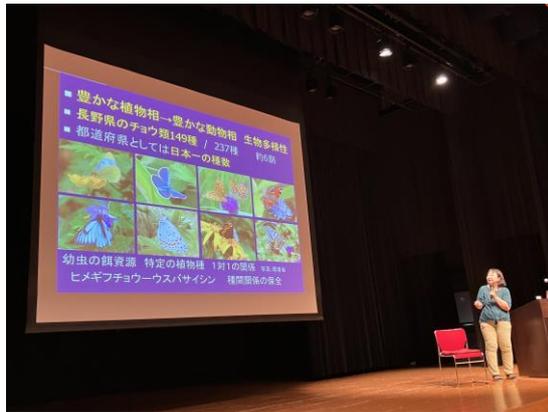


まほらいな市民大学の様子

令和7年7月1日（火）信州大学出前講座

『 植物の多様性と人との関係 』

講師 信州大学農学系教授 大窪 久美子 氏



信州大学出前講座では、信大農学部にお勤めの大窪久美子教授をお迎えしてご講演いただきました。

長野県や伊那谷は気候、地形、地質が複雑に入り組んでおり、自然豊かで生物多様性ホットスポットになっている。それと同時に、絶滅危惧種が数多くありその保全が大切になっている。伊那谷は長野県の中で一番チョウの数が多く、特定の植物相で生息している。また、身近な里地里山の自然環境が問題となっていて、特定外来生物・植物の駆除や共存をどうしていくか、などわかりやすくお話されました。

学生からは「貴重なお話を聴くことができました。失われつつある自然環境の保全に尽力されている大窪先生の、絶滅危惧種の保全や再生、外来種の駆除の取組や熱意・思いが伝わってきました。」「在来の種類の生物・植物が失われていくのは切ないです。家の周りに昔はホタルがいましたが、最近見ないです。」「二次的自然。人との関係。なかなか難しくなっている。少しでも自分の出来ること（野良仕事）をしていこうとおもいました。」「といった感想がありました。